

鴨川小学校だより

令和4年5月6日第5号(保護者の皆様へ)

『子どもが育つ魔法の言葉』

『子どもが育つ魔法の言葉』(ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著 石井千春 訳)という本があります。保護者の皆様、この本をご存じですか。本の冒頭に「子は親の鏡」と題した20行にもわたる詩が掲載され、詩を一連ごとに取り上げて、解説が加えられています。以下に、「子は親の鏡」の一部を紹介します。

「励ます」「誉める」「認める」「公平」……。いつの時代も、子どもは温かい愛情のもと健やかに育つものです。私たち大人(親や教師)が以下の詩に思いを寄せ、子供たちに向き合っていければと思います。

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

※本日6日に子どもたち全員が揃いました。そのことが大変うれしかったです。コロナ禍は続きますが、感染防止対策へのご協力ならびに教育活動へのご支援・ご協力を改めてお願いいたします。

(校長 福井 明)